

猛暑の中、まつりに貢献 平泉中2年生が火床設置

平泉中2年生とその保護者が8月7日、大文字まつりの火床づくりの作業を行いました。

今年の夏を象徴するような猛暑日の中、生徒たちは「大」の字が描かれている駒形峰の急斜面を薪を担いで登りました。約1時間で64カ所ある火床の設置作業も無事終了。作業終了後は、冷たい飲み物やアイスクリームで疲れた体をいやしました。生徒や保護者の協力もあり、まつり当日には見事な「大」の文字が夜空を赤く染めました。



避難所生活体験 2区自主防災会

2区自主防災会（岩淵照美会長）は8月4日、1泊2日の災害時避難所生活体験を実施しました。この体験には、同自主防災会のほか、同地区の中学校PTAや1区自主防災会も参加。災害発生時の対応方法や非常時の炊き出しなどの研修を実施しました。災害発生時の対応方法では、一関西消防署平泉分署員から岩手・宮城内陸地震のスライドを交えながら講習を受けました。岩淵会長は「これを機会に町内の各地域でも防災の意識を高めてもらえれば」と話していました。



2事業所に感謝状 日本赤十字社表彰

日本赤十字社へ社資を寄せられ、赤十字事業の進展に貢献されたことに対し、次の事業所が表彰を受けました。【銀色有功章】(株)一関日産【支部長表彰】平泉ドライビングスクール(写真左)、(有)泉商店(写真右)、(株)フタバ平泉【特別社員】朝田建設(株)、丸正建設(株)



西目屋村の児童と交流 きらめきリーダー研修

町内の児童が町外児童と交流する宿泊研修「22年度きらめきリーダー研修」が8月2～3日にかけて、青森県西目屋村で行われました。町内の小学5、6年生から児童31人が参加。西目屋村小学校の児童とレクリエーションや弘前ねぶたまつりに参加して交流を深めました。



戦争のない世界願う 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月10日、平泉文化遺産センターでしめやかに営まれました。太平洋戦争での町内の戦没者は305人。参列した遺族など約120人は、祭壇に花を手向けて静かに手を合わせ、戦争の犠牲となった肉親や先祖のめい福を祈っていました。



安全、快適な道路を 「道の日」に奉仕活動

(社)岩手県建設業協会一関支部平泉地区会員(5業者)は「道の日」の8月10日、快適な道路環境の維持を目的に、町道鈴沢線で街路樹の枝打ちや歩道の清掃を行いました。約3時間の作業で、鈴沢線は安全な見通しと美しさを取り戻しました。



会場中が大興奮 親子スポーツ大会

教育委員会主催の親子スポーツ大会が7月31日、平泉小学校と平泉中学校の体育館で開催されました。

今年で3回目となるフットサル競技には6行政区、約80人の親子が参加。毎試合白熱した試合が展開され、選手は応援団の熱い声援に応じて元気にプレーしていました。

大会決勝では10区Bチームと6区Aチームが対戦。

10区Bチームが6区Aチームを2-0で破り初優勝を果たしました。



地域の消防防災に尽力 協力事業所に認定証交付

町では、地域の消防防災力の充実強化などの推進を目的として、消防団に積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付する制度を7月1日から施行しています。

今回、町内の事業所から認定の申請があり、認定基準に適合していると認められたため、平泉町第1号の協力事業所として朝田建設株式会社(朝田豪代表取締役)に8月2日、町長から表示証が交付されました。